宝物はすぐそばに

校内研通信
第13号　　R7.9.22
発行者：校内研担当　仲村智

出川イングリッシュになろうとまずは表現することが大切

９月２２日（月）１校時、３年６組にて伊波彩花先生が英語の授業を公開しました。本時のねらいは、グループで協力して内容を理解し、要点をとらえまとめることです。月曜日の１校時ということで、先生の問いかけに反応の薄く少し元気のない様子も伺えましたが、そこは彩花先生、常に自分から率先して生徒との会話を楽しんで進めていき、生徒もペア活動に入る頃には積極的にペアトークに取り組み、自分の言いたいことを伝わるように表現していこうとする姿勢があちこちで見られるようになりました。その後のメインの展開においても、グループで協力して語句を調べたりポイントとなる文節を本文から切り取って要約したりすることで、全グループが本日のねらいを達成できた授業となりました。明確なめあての提示と視点をおさえたまとめで、生徒のメタ認知を高める授業の振り返りになったと感じます。彩花先生、素敵な授業をありがとうございました😄

RS みいつけた！

南風原町学力向上推進委員会　かすりっ子「学ぶ」プロジェクト

【RS の視点を意識した６つの授業改善の Point！】より

【Point5】具体例生成や同義文生成の活動を取り入れる！

- ☐ 同義で言い換えた表現や具体例は何かを明らかにしているか？
- ☐ 定義を基に具体例を考える「具体例生成」をさせているか？
- ☐ 同義となるように言い換える「同義文生成」をさせているか？

※ 同義…意味が同じであること／同じ意義

「同義文判定」の力を高める指導のあり方

言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、文章を読み取り考えたり、話し合ったりする活動に取り組めるようにする。
（正しい定義や意味が分からないときは、必ず調べるよう指導する。）